

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第2区分
 【発行日】令和5年1月30日(2023.1.30)

【国際公開番号】WO2021/241320
 【出願番号】特願2022-526915(P2022-526915)

【国際特許分類】

H 0 1 G 4/228(2006.01)

H 0 1 G 2/02(2006.01)

H 0 1 G 2/08(2006.01)

10

【F I】

H 0 1 G 4/228 S

H 0 1 G 2/02 1 0 1 Z

H 0 1 G 2/08 A

【手続補正書】

【提出日】令和4年11月11日(2022.11.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

互いに対向する第1電極および第2電極と、前記第1電極と前記第2電極とを繋ぎ、互いに対向する一对の扁平部と一方の前記扁平部と他方の前記扁平部とを繋ぐ一对の湾曲部を有する側面とをそれぞれ有し、前記扁平部が対向するよう一列に配置された複数のコンデンサと、

隣接する前記コンデンサのそれぞれの前記扁平部の間のいずれかに配置され、前記隣接するコンデンサの少なくとも一方の前記第1電極に接触する少なくとも1つの金属板と、
前記少なくとも1つの金属板とは別体として構成され、前記少なくとも1つの金属板に電氣的に接続する第1バスバーと、

30

前記第2電極のそれぞれに電氣的に接続する第2バスバーと、
 を備え、

前記複数のコンデンサの前記第1電極はそれぞれ、前記少なくとも1つの金属板に電氣的に接続される、

コンデンサモジュール。

【請求項2】

前記金属板は、前記隣接するコンデンサの両方の前記第1電極に接触するよう異なる方向に屈曲する、

40

請求項1に記載のコンデンサモジュール。

【請求項3】

前記金属板は、前記隣接するコンデンサのそれぞれの前記扁平部の間に配置される本体部と、前記本体部から前記第1電極に接触するように延びる電極接触部と、前記本体部から前記第1バスバーに接触するように延びるバスバー接触部と、を有し、

前記電極接触部は、前記隣接するコンデンサの一方のコンデンサの前記第1電極に接触する1つまたは複数の第1電極接触部と他方のコンデンサの前記第1電極に接触する1つまたは複数の第2電極接触部とが間隔を空けて交互に設けられて形成される、

請求項1または2に記載のコンデンサモジュール。

【請求項4】

50

前記バスバー接触部は、前記隣接するコンデンサのそれぞれの前記扁平部の間から前記隣接するコンデンサのそれぞれの前記湾曲部の間に向かって前記本体部が延びた位置に形成される、

請求項 3 に記載のコンデンサモジュール。

【請求項 5】

前記バスバー接触部は、前記湾曲部の間に位置するよう形成される、

請求項 3 または 4 に記載のコンデンサモジュール。

【請求項 6】

前記複数のコンデンサの数は $2n + 1$ (n は自然数) であり、前記金属板の数は $n + 1$ 以上 $2n$ 以下である、

10

請求項 1 ないし 5 のいずれか 1 項に記載のコンデンサモジュール。

【請求項 7】

前記複数のコンデンサの数は $2n$ (n は 2 以上の自然数) であり、前記金属板の数は n 以上 $2n - 1$ 以下である、

請求項 1 ないし 6 のいずれか 1 項に記載のコンデンサモジュール。

【請求項 8】

前記複数のコンデンサの数は m (m は 3 以上の自然数) であり、前記金属板の数は、 $m - 1$ である、

請求項 1 ないし 7 のいずれか 1 項に記載のコンデンサモジュール。

【請求項 9】

20

前記少なくとも 1 つの金属板の厚さは、前記第 1 バスバーの厚さよりも小さい、

請求項 1 から 8 のいずれか 1 項に記載のコンデンサモジュール。

30

40

50